

き た は ら

# 喜多原だより

NO. 83

令和6年9月吉日発行

## 後援会長挨拶

保護者の皆様・後援会員の皆様には、鳥取県立喜多原学園後援会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は平成29年6月の総会で後援会長に選任いただき、以来務めさせていただいております。微力ではありますが、引き続き皆様とともに子供達に寄り添い、子供達の輝かしい未来のため自立へのサポートを行い、喜多原学園後援会の益々の発展のために、なお一層尽力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

喜多原学園後援会は昭和41年に発足した歴史ある会でありまして、「喜多原学園の事業を後援し、学園児童の福祉の向上を図ることを目的とする」という会則に則り、後援会員の皆様からいただいた会費をもとに、学園運営の協力、児童福祉理念の普及支援、児童福祉の向上のための支援、児童福祉に関する調査研究、その他目的達成のために必要な事業などの支援事業を行っています。

令和5年度は地域との交流やスポーツ・生徒会活動費、イベント記念品代など、在籍する子供達のために使わせていただきました。今年度も様々な行事が予定されておりますので、在籍する12名の子供達が輝ける喜多原学園になるように有効に使わせていただきたいと思います。

子供達が健やかに成長するためには「信頼出来る大人が1人いること」が決定的に重要だと強く思います。その役割を喜多原学園の教職員の皆様に担っていただいております、心から感謝するとともに、これからも全力で応援していきたいと考えます。

そのためには、喜多原学園の教職員の皆様や保護者の皆様、私ども後援会が連携し、一体となって子供達を支えていかなければならないと思いますので、更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本後援会の活動にご理解・ご賛同いただき、新規ご入会いただけたら幸いです。重ねてお願い申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。



財務副大臣・衆議院議員 赤沢亮正

## 学校生活

### 「3日間の修学旅行で得たもの」 (※令和6年5月29日～31日実施)

修学旅行1日目は、NHK大阪放送局の見学や天王寺動物園・通天閣周辺の散策、よしもと漫才劇場での芸能鑑賞など、大阪の文化を幅広く体験しました。2日目は、京都エキスカッション。当日までの授業の中で、1人1人が旅のテーマを設定し、それをもとに男子チーム、女子チームそれぞれで訪問先や経路を考えて、計画を立てました。この日は天気も良く、暑いくらいの天候でしたが、男女ともおおむね計画通りにエキスカッションをすることができました。清水寺や平等院などの文化遺産を訪れ、日本の歴史をより身近に感じる事ができたと思います。そして3日目は、みんなが待ちに待ったUSJ。雨がぱらついた時間帯もありましたが、アトラクションやショッピングを思いっきり楽しんでいました。3日間を通して、楽しい体験ばかりでなく、ラッシュ時間帯の電車移動の大変さなど、大都市の街の様子や人々の動きに直接触れることができ、いずみ分校の修学旅行だからこそできる、充実した思い出深い3日間となったのではないのでしょうか。

(福生中学校いずみ分校教諭 山根壮平)

#### 〈児童作文〉

普通の中学校とは違って地下鉄や公共交通機関を使った修学旅行が出来て、良い経験でした。そして3年生の仲間と分校の先生と行けて楽しかったです。3年生の中での一番の思い出のページになりました。

(女子寮児童 Kさん)

### 「野球大会応援旗に込めた想い」

7月9日～11日の3日間、出雲ドームで行われた第69回中国少年野球大会に出場する男子のみなさんに対して、同じ学園で共に過ごす仲間として、女子生徒が応援旗を作成しました。応援している熱い想いをどうしたら届けられるかを悩みに悩んだ結果、『一致団結！～弱気は最大の敵～』というメッセージを旗に描いて送りました。応援に行った先生から、男子のみなさんが最後まで諦めることなく、全力でプレーし続けたという話を聞き、応援旗に込めた想いに応えてくれたように思いました。(講師 並里育子)



### 「進路について考え、今できることを知る」

2学期の始業日に鳥取県立米子ハローワークの職員の方に来ていただき、「就職という進路選択について」というテーマで、鳥取県の就労の現状や中学校卒業では就けない仕事、取れない資格などについて説明していただきました。また、就職という段階になる前に、学校生活の中で学んでほしいことについても話していただきました。今の時点で、進学したい高等学校が決まっている生徒もいれば、まだ漠然としていて、将来進むべき道を決めかねている生徒もいると思いますが、これらの学習を通して、一人一人が将来の自分の進路について考えることができたと思いますし、以前よりも視野も広がったことと思います。自分の将来の夢を叶えるための簡単な近道などそうそうあるものではありません。「今できることを知り、自分の夢や目標を実現するために、それらを日々実行していく」姿勢を、これからの生活の中で大切にしていってほしいと思います。

(教諭 古山陽一朗)

## ★新任職員の紹介★

### むらかみ つばさ 村上 翼先生

7月からいずみ分校の一員になりました、村上翼です。得意なことはスポーツですが、マラソンは苦手で、体力がなくて困っています。着任してから約2か月が過ぎ、少しずつですが、いずみ分校での生活にも慣れてきました。授業や運動を通して、生徒のみなさんとの関係も深められているような気がします。まだまだわからないことがたくさんありますが、先生方や児童・生徒のみなさんに助けをもらいながら、自分なりにできることを頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

(講師 村上翼)

# 男子寮

## ～野球大会を終えて～

児童全員が野球未経験のなか、みんなで練習を頑張ってきました。僕はキャプテンとして、みんなを引っ張るためにたくさん声を出して頑張りました。試合の結果は全敗でしたが、最後まで諦めずに戦うことができたので良い経験になりました。応援ありがとうございました。  
(児童代表 キャプテンMくん)

## ～野球監督の言葉～

7月、島根県で行われた第69回中国少年野球大会に参加しました。大会期間中は大雨もありましたが、出雲ドームのおかげで予定通り試合を行うことができました。野球未経験者しかいない中、残念ながら試合の方は敗れてしまいましたが、選手それぞれが与えられた役割、今できることを必死で行っていたことは、大会関係者含め見ている人たちの心を打ちました。大会直前に9人そろい、素晴らしいドーム球場で野球ができたことに感謝。応援に来てくださった皆様も、ありがとうございました。  
(野球部監督 藤原敦)



## ～大会後の感想を川柳で～

あついで	センターで	がんばった	ああがんばった	がんばった	大会で	暑かったけど	がんばった	暑い中がんばり	ハード練習	野球大会で	少し上達したな	負けたけど	打たれた球を	とりまくる	ファースト	スリーアウト	ストライクとり	ピッチャーで	がんばった	キャッチャー
ともとても	みんなのカバー	がんばった	がんばった	がんばった	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど	暑かったけど
児童 Y	児童 K	児童 Y	児童 R	児童 M	児童 S	児童 Y	児童 S	児童 M	児童 Y	児童 S	児童 M	児童 Y	児童 S	児童 M	児童 Y	児童 S	児童 M	児童 Y	児童 S	

## ～僕たちの Summer Vacation～

男子寮の夏休み日課はとてもハード。午前中は作業にプール、昼食を食べまたプール、ランニング2km、そして夕方にもプール。一日に3回プールに入り、子どもも大人も真っ黒に日焼けした夏休みでした。8月上旬には海水浴に2回行き、魚を探したり、泳いだり、釣りをしたりと夏の海を楽しみました。お盆期間には寮内で縁日をしたり、夕食を手作りのお祭りメニューにしたり、夜に花火をしたりと、みんなで夏を感じました。(男子寮職員 中島萌々子)

## ★新任職員の見紹介★

うえがみ けい  
上紙 啓先生

8月から新しく男子寮に配属になりました上紙啓です。7月末までは児童相談所の一時保護所で働いていました。これまでの経験を活かしつつ、男子寮の児童と一緒に生活していきたいと思ひます。私は水泳が得意なので、児童にしっかり泳ぎ方を教えていきたいです(もうシーズンは終わりますが…笑)。行事や運動など楽しみながら頑張ります。よろしくお願ひします。  
(男子寮職員 上紙啓)

## 女子寮

### ～寮行事について～

男女寮ともに月に1度、お楽しみ企画として「寮行事」を行っています。今回は女子寮の寮行事についてご紹介します。5月、伯耆町にある「つちや農園ゆめファーム」さんにご協力いただき、みんなでいちご狩り体験をしました。体験を通じて子ども達は自分の手でいちごを収穫させてもらい、また採った沢山のいちごをお土産として持って帰らせてもらいました。その日の夜にはお土産でいただいたいちごと牛乳を混ぜて、みんなでいちごジュースを飲みました。美味しいいちごと農園の土屋さんの温かさに、女子寮みんなが幸せにもらった一日でした。

(女子寮職員 福本涼葉)



### ～夏休みの思い出～

8月6日、夏休み中の子ども達と一緒に海水浴に行きました。米子の街並みを抜け、高いたかいベタ踏み坂を上り…坂を越えた先に青く透きとおった綺麗な海が見えてきました。子どもも大人もテンションMAX! 浮き輪やシュノーケリングなど各々が装備を身に着け海にダイブ! 深いところまで探検に行ってみたり、プカプカ浮いてみたり、砂場でビーチフラッグをしてみたり砂に埋ってみたり…みんなで海遊びを堪能し楽しい思い出ができました。

(女子寮職員 福本涼葉)

#### 〈児童作文〉

足がつかない所まで初めて行くことが出来ました! おやつも食べたりできたしみんなで海水浴に行けたのでよかったです。楽しかったよ!

(児童 Rさん)



### ～おけいこについて～

女子寮では、毎月2回、山澤先生にご指導をいただきながら「お茶」「生け花」「書道」の3種類のおけいこに取り組んでいます。おけいこの取り組みの中で子ども達は自分を律し、感性を磨きながら礼儀や作法を学んでいます。寡黙に取り組む姿はとてまかっこいいです。園遊会などの機会に、ぜひ皆様にも見ていただきたいです。



# 学園行事

## ▼米作り体験について

例年お世話になっている地域の方々のご協力を得て、5月に種まきを、6月に田植えの体験をさせていただきました。田植えの時には、田んぼに入ることを躊躇う児童がいたり、全身泥だらけになった児童がいたりと色々なことがありましたが、最後までみんなで息を合わせて田植えを体験できました。秋の脱穀が楽しみです。  
(男子寮職員 中島萌々子)



## ▼川遊びについて

毎年、米作り体験でお世話になっている地域の方から声をかけていただき、7月に川遊びに行きました。川幅が広く、流れもゆるやかな綺麗な川に遊びに行きました。子どもたちは、水をかけあったり水鉄砲の打ち合いをして全身ずぶぬれになるまで遊びました。浮き輪に乗って、川上から流れたり、川魚を真剣に探したり思い思いに楽しんでいる姿がとても嬉しかったです。川で採れた鮎と、イノシシの焼肉、すいかをごちそうになり、みんなで一緒に食べたこともとても楽しい時間となりました。お世話になった地域の方への感謝とともに、これからも色々な経験や楽しい体験ができるように行事の計画をしていきたいと思ひます。  
(女子寮職員 谷野純麗)



## ▼こたか保育園交流について

学園では年に3回程度、学園の近くにある「こたか保育園」の園児さんと交流をしています。5月には今年度第1回目として芋の苗植えを行いました。園児さんと学園児童でペアを組み、一緒に取り組みました。学園児童もはじめは緊張していましたが、時間が経つにつれて自然と優しい表情になりました。園児さんと目線を合わせて話す姿や優しい声かけ、お互いに手を寄せ合いながら苗植えを楽しむ姿がありました。園児さんと関わる子どもたちは笑顔に溢れ、お互いが安心した様子で交流していました。10月、12月に実施する芋ほりやレクリエーションを通してまた交流を楽しみます。新たな子どもたちの姿を発見することができる絶好の機会。とても待ち遠しいですね。  
(男子寮職員 影山健太)



## ▼「大人のできること、おすそわけ企画」の取り組み

今年の夏休みは、子どもたちの「できること」を増やすため、「大人のできること、おすそわけ企画」を実施しました。タイトルの通り、私たち大人のちょっと得意なことを子どもたちに伝えるための企画です。

まずは、大人のできることを募集して、メニュー表を作りました。子どもたちには、1学期終業式の日、アンケートを実施し、参加したい「おすそわけ」の希望を募りました。

体を動かすもの、頭を使うもの、作って食べるもの、感じるもの、手先を使うもの、健康…etc

～メニュー紹介～

加川先生のわくわくふわふわ  
パン作り教室

福本先生のハッピーラッキー  
クッキーづくり

美容と健康は足裏から 赤井先生の  
足裏マッサージ教室

林先生の知って楽しい  
自分の感覚

ボードゲーム部長影山の  
ボードゲーム

栗本先生のチクチク  
エコバックづくり

中島先生の  
ダンスハムニダ

有酸素運動で元気に！  
永田先生のマッスル  
エアロビクス

朝倉先生の誰でも簡単  
エイトビート

村上先生の蜂のように刺す  
蜂のように刺す  
パンポン



色々な種類の「おすそわけ」をバランス良く提案することができました。

子どもたちに希望を募った理由は主体性を育むためです。自分の意志や判断で選択し、自分の責任のもと、行動してほしいのです。どの「おすそわけ」も和やかな雰囲気、笑い声や笑顔が溢れ、楽しい嬉しい時間となりました。

良かったのは子どもたちにとってだけではありません。私たち大人も「こう教えた方が分かりやすかったかな？」

「子どもたちは楽しんでくれたかな？」などと考え、成長するきっかけになりました。

お子さんがどの「おすそわけ」に参加したか、また参加してみてどうだったか聞いてみてくださいね。

(男子寮職員 赤井智絵美)

## 後援会関係

### 後援会費で果樹を購入させていただきました。

寄付していただいた後援会費で果樹（レモン、ゆず、ブラックベリー、びわ、さくらんぼ）を購入しました。これらの果樹は、今居るこども達、私たち職員とて力を合わせて大切に育て、この先何年も繁栄させ、次の世代に学園で暮らすこども達の恵となるようにしていきたいと考えています。

現在喜多原学園には、かつての入所児童が植え育ててくれた梅・栗の木があります。旬の季節になるとこれらの木から沢山の梅や栗が採れ、こども達や私たち職員はこれらを梅干しや梅ジュース、栗ご飯して美味しくいただいています。かつての先人から受け取ったバトンを、私たちも繋いでいけるように、精進してまいります。こども達が日々様々なことに挑戦できるのは、応援してくださる後援会の皆様のご支援あってのことであると感謝しています。いつも大変有難うございます。

### 会員・会費募集案内

喜多原学園では随時、後援会の会員・会費を募集しています。

ご支援が学園で暮らすこども達の支えになります。

【会費振込先】（口座名）鳥取県立喜多原学園後援会（口座記号）01440-2（口座番号）4066  
※一口 1,000円から募集しています。趣旨にご賛同いただける方はご協力よろしくお願いたします。

### 令和6年度年間行事計画

4月	観桜会、遠足	5月	米作り体験、こたか保育園交流
6月	田植え	7月	野球大会（島根県開催 7/9～11）
8月	海水浴	9月	キャンプ、大山登山
10月	バレー大会（鳥取県開催 10/17～18）	11月	園遊会（11/1）、駅伝大会（岡山県開催 11/8）
12月	クリスマス会、餅つき	1月	とんど、スキー体験
2月	スキー体験	3月	卒業式、終業式

※12月～2月頃、児童向け講座や外部講師による研修等を計画予定。

※変更の可能性あり。

～児童在籍情報～ ※R6年9月1日時点

小学生		中学生		中卒生		計
男子	女子	男子	女子	男子	女子	
2名	0名	7名	3名	1名	0名	13名

#### 編集発行

鳥取県立喜多原学園

鳥取県米子市泉706

TEL 0859-27-1101

FAX 0859-27-1611

#### 編集後記

喜多原だより No.83号を作成させていただきました。

あっという間に季節がめぐり夏がやってきました。喜多原学園では毎月、毎季様々な取り組みをしています。喜多原だよりを通じて、みなさんに学園のことや学園で暮らすこどもたちのことを知ってもらえたらうれしいと思います。

喜多原だよりと合わせてHPも随時更新予定です。見ていただけたら嬉しいです。今後ともよろしくお願いたします。